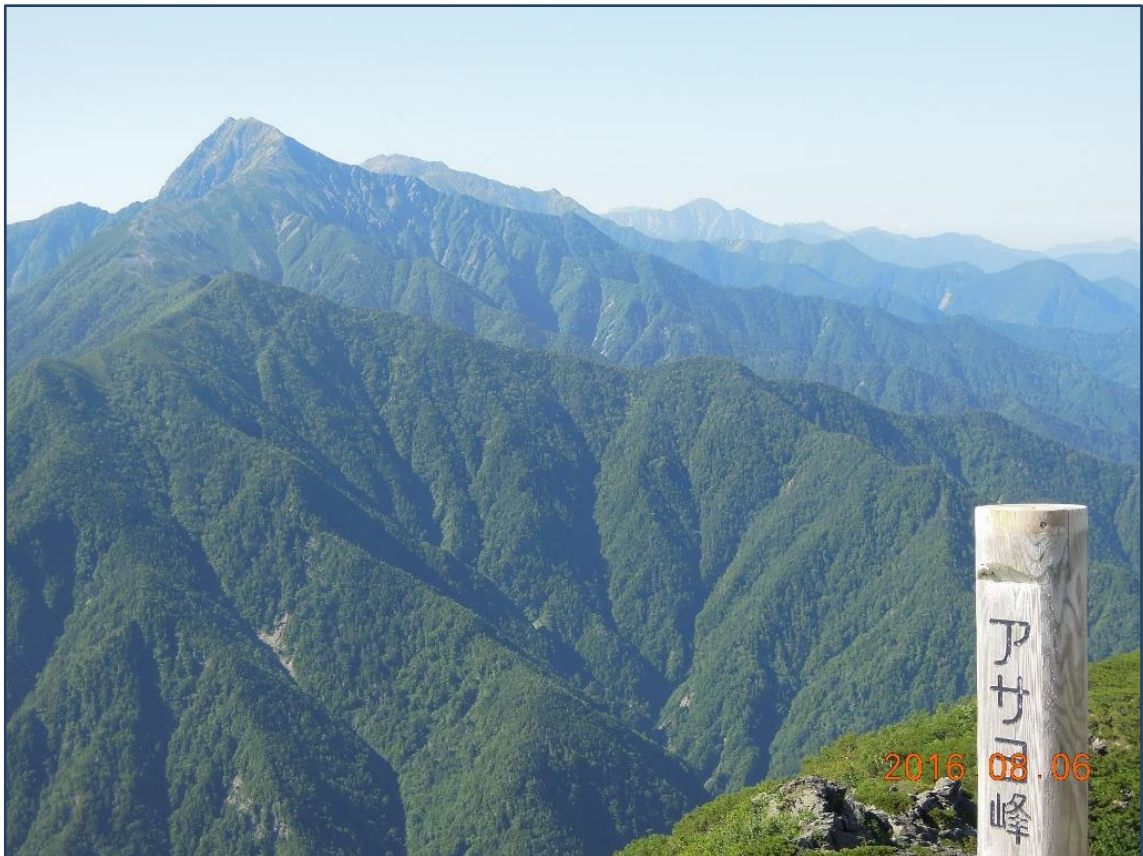


ヤマビコ

YAMABIKO

2020
(令和2年)

9 月 号



 東葛山の会

No. 514

9月・10月 予定表	1
8月例会報告（1出席者・2議事メモ・3山行実績）	2～3
9月以降の山行及び例会などの会としての方針（会長）	4～5
山行案内（9月・10月・11月）	6～8
山行報告	
・ 難台山（井上順）	9
・ 初登山（柳）	10～11
・ 雪入山の百体摩崖仏（鈴木か）	12～13
・ レッツ「GOTO トラベル」で尾瀬・奥日光（猪狩）	14～16
・ 日光白根山（岡部）	17
短歌 茶臼岳～朝日岳を振り返り（羽鳥）	18
思い出の山（四元）	19～20
ちょっと一言（菅谷・赤塚）	21～22

表紙写真紹介

南アルプス・アサヨ峰 2799m（300名山）

「朝早くから日が当たる山」という意味が山名の由来、早川尾根上にある山です。乙女？の頃、5月雪上訓練で登ったのが1度目、20年位前に早川尾根小屋に泊まりたくて下山路として登ったのが2度目。

3度目は東葛の仲間と…、仙水峠からは90%以上の人が甲斐駒へ向かうのですが、アサヨ峰は反対方向南へ向かう。人は少なく静かで展望は最高！北岳がドーンと目の前に。1度目、2度目は難なく登りましたが、3度目は60代後半、こんなきつい山だったか…もう大変でした。大好きな山ですが再度訪れる事は難しいでしょう。
～ 江崎昌子～

会報部からのお願い <表紙写真>

10月号は三橋和子さん、11月号は池谷通隆さん、よろしくお願いします。その際、100字程度の紹介文を添えて、前月20日までに、会報部（鈴木か）へ提出して下さるようお願いいたします。

8月号の記載に誤りがありました。お詫びして訂正いたします。

<もくじ>

山行報告 大平山（嶋本）・大平山紀行（伏見）→太平山

会報部からのお願い 8月号は江崎さん→9月号 8月号は三橋さん→10月号

<予定表> 2020年7月・8月→2020年8月・9月

予定表 2020年9月・10月

日	曜日	9 月	日	曜日	10 月
1	火	例会 (19 : 00～21 : 00)	1	木	
2	水		2	金	
3	木		3	土	
4	金		4	日	
5	土		5	月	
6	日		6	火	例会 (19 : 00～21 : 00)
7	月		7	水	
8	火		8	木	
9	水	山行部会 (19 : 30～21 : 30)	9	金	
10	木		10	土	
11	金		11	日	
12	土		12	月	
13	日		13	火	
14	月		14	水	山行部会 (19 : 30～21 : 30)
15	火		15	木	
16	水		16	金	
17	木		17	土	
18	金		18	日	
19	土		19	月	
20	日		20	火	
21	月	敬老の日	21	水	
22	火	秋分の日	22	木	
23	水		23	金	
24	木		24	土	
25	金		25	日	
26	土		26	月	編集会議 (9 : 00～11 : 00)
27	日		27	火	
28	月	編集会議 (9 : 00～11 : 00)	28	水	
29	火		29	木	
30	水		30	金	
			31	土	

※2020年9月・10月会山行中止

※2020年11月会山行予定

★11/1(日) 尾白川溪谷 (おじらがわけいこく)

★11/7 (土) 赤城山 (黒檜山・駒ヶ岳コース)

★11/21 (土) 大房岬 (だいぶさみさき) ウォーキング・・11/22 (日) 予備日

例会報告

8 月例会出席者

2020/8/17

39 名

安彦、加藤、桐生、村上、八巻、小林和、伏見、高見、前田延、山岡、入江、間瀬、鈴木か、五十嵐朝、四元、江崎、三橋、永木、石塚、菊池、羽鳥、井上勝、山脇、梅田、逢地、前田節、赤塚、菅谷、山口洋、菅原、小林正、井上順、山口幸、清水、畑中、金子、笹、鈴木正、柳

8 月 17 日(月) 例会議事メモ

1、「やまびこ 8 月号」表紙裏面の誤記訂正（前田節）

表紙写真寄稿者；江崎昌子（誤）8月号→（正）9月号、三橋和子（誤）8月号→（正）10月号、目次；P18～20（誤）大平山→（正）太平山

2、山行報告 「7 月山行報告」参照

3、山行案内；コロナ禍での対応(会長)

- ・9、10 月の会山行は中止。11 月以降については、後日指示
個人山行は対象外。但し少人数、マイカー推奨、感染防止策を徹底
公共交通機関利用の場合は、通勤・通学時間帯を避ける
- ・山小屋利用の場合は現地情報確認。インナーシート又はシュラフ持参

4、各部報告

1)会報部（梅田）9/1の例会に間に合う様、「やまびこ9月号」は8月31日HPに掲載。9/1(火)の例会時、プリントして持参して下さい

2)山行部（菅谷）会山行の中止が続くが、計画は先々の山行に生かして欲しい
9/9(水) 山行部会開催；12月会山行検討

3)県連（羽鳥）

- ・「ちばニュース8月号」には、7月理事会報告、ハイキング委員会、房総ロングハイク、ウィークデー山行、ふれあいハイク、全国遭難対策会議で「ZOOM」活用、転倒事故防止の為にストックの使い方・・・等、内容が豊富なので、再度目を通して頂きたい。

- ・九州洪水災害；何れ県連より義援金の要請有り

4)安彦会長

- ・ポストコロナの例会会場；学習室①第一月曜日で検討
- ・例会の月1回開催に関し、環境整備中
- ・「UIAA 総合登山技術ハンドブック」の購入希望者は、19日までに会長へ連絡
- ・9月第二例会(9/15)中止

2020 年 7 月 山 行 報 告

山 名		ジャンル	月 日	山行 区分	人数	参 加 者
1	高水三山(たかみずさんざん)	ハ	7/2	個	3	清水、羽鳥、井上順
	梅雨の晴れ間を狙った山行。比較的気温が低いので実施。軍畑に車を置き、御岳に出るコースを選ぶ。高水山からの尾根歩きは涼しく快適。岩茸石山からの展望が素晴らしい。休憩を入れて5時間のゆっくり旅。快適な山行を楽しめました。下界は暑かった。「やまびこ8月号」に掲載					
2	雪入山(ゆきいりやま)	ハ	7/5	個	4	菅谷、江崎、嶋本、鈴木か
	梅雨時、山はぬかるんで滑りやすく、訓練には丁度よい。花もなく展望もないですが、山を歩ける楽しさですね。					
3	大坊山(だいぼうさん)～大小山(だいしやうやま) (栃木の山150) 10月	ハ	7/5	個	4	安彦、石塚、山口幸、山口洋
	『10月会山行提案』のため、予定しているコースを実際に歩き、コースを決定し提案したい…と考え歩きました。山川長林寺から歩き始めたのでは厳しい…ということで、大山祇神社から大坊山に登るコースに変更決定しました。詳細は、会報8月号参照。					
4	晃石山(てるいしやま) 太平山(おおひらさん)	ハ	7/11	個	3	桐生、伏見、江崎
	太平山のルートを極めようと、雨の中の登山を楽しみました。下山したら晴れました。「やまびこ8月号」に掲載					
5	鹿沼岩山(かぬまいわやま)	ハ	7/12	個	5	安彦、石塚、蓮見、畑中、金子
	4月予定の会山行、そして個人山行が、コロナで中止になりましたが、是非とも歩いてみたい…という要望で実施しました。暑かった！低山の夏山でのヘルメット着用は厳しいですね。詳細は、『ちばニュース』8月号参照。					
6	難台山(なんだいさん)	ハ	7/13	個	2	井上順、清水
	梅雨の晴れ間の山行・その2。涼しさだけを求めて、雨が降らなければと出掛けた。前月同じ山に行った方から情報をゲット。起伏の多い急斜面を滑らないように歩くのに神経を使った。道中は高木に覆われ、夏場でも涼しい…とは地元登山者の言。「やまびこ」9月号に掲載					
7	雨巻山(あままきやま)	ハ	7/30	個	4	安田、江崎、嶋本、菅谷
	一般的なコースのちょうど反対側から上って下りてきた。門毛一尾根分岐一雨巻山一尾根分岐一深沢峠一門毛。昼食込みで4時間。頂上以外では、人に合わなかったが、道もはっきりしているし標識もある。車でのアプローチが有利。車は門毛の集会所に置く。					
8	茶臼岳(ちやうすだけ) 朝日岳(あさひだけ)	ハ	7/31 ～ 8/1	個	6	四元、井上順、羽鳥、柳、逢地、清水
	自家用車二台で移動。初日は雨だったので宿の近くの自然研究路を歩き、雨の木道は、傾斜が僅かでも良く滑る事を体験した。早めに宿に入り、柳さんの細やかな歓迎会を実施。翌日は晴れ。那須岳一帯の展望の素晴らしさと、爽やかな空気を満喫出来た。下山後、日帰り温泉を出たら土砂降りの雨になった。ラッキー… 詳細は「やまびこ9月号」に掲載					

会山行「早池峰山と薬師岳」(7/2～7/3)、「白馬乗鞍～蓮華温泉」(7/17～7/18)、「三島めぐり」(ウオーキング)はコロナウィルス感染予防のために中止しました。

9 月以降の山行及び例会などの会としての方針

コロナ禍における今後の会活動について、『8 月 17 日（月）の例会時の説明』および『8 月 19 日（水）のコロナ禍第 10 弾メール配信』に、『その後分かったこと』や『皆さんからの要望・意見』等も加味して書き足しました。

会長 安彦秀夫

★山行

1) 『会山行（9 月と 10 月）』は、**全て中止**とします。

2) 11 月以降については、状況を見ながら改めて方針を出します。

目処としては、遅くとも『10 月 6 日（火）例会』には正式に説明をしたいと考えています。これでは、11 月会山行（バス利用）を考えた場合に遅いということであれば、前倒しもあり得ます。

※メール配信に対して、11 月会山行担当者から前倒しの要望がありましたので、9 月 19 日（土）までには、方針をメール配信したいと考えています。

3) 『個人山行』は、**会としては特に規制をしません**。

個人の判断でもって実施してください。但し、少人数（最大 5～6 名）、リスクの小さい近場の山、日帰り、感染防止対策（マスク着用、手指の洗浄等）をしっかりと行うこと…などを考慮してください。

更に、可能な限りマイカー利用をしてください。

公共交通機関を利用する場合は、極力混雑時は避けるよう工夫してください。

4) 宿泊を伴う山行を実施する場合、事前に、交通や道路状況そして宿泊先等について十分に調査をし、山行計画書を作成してください。

多くの山小屋が、この夏は営業を止めたり、宿泊人数などの制限をしたりしています。寝具の提供があったとしても『インナーシート』の持参や、寝具の提供を止めたりしている場合は『シュラフ』の持参をする必要があります。更に多くの規制もされています。

★例会(コロナ禍での例会開催)

1) コロナ禍で中央公民館の利用規制があり、原則『**月 1 回**』の開催とします。

2) 日程は、『**集会室（定員 90 人）**』が**確保（予約）できた時**です。

3) 『第 1 月曜日』又は『第 1 火曜日』の夜間（19：00～21：00）を考えています。確保できない場合は、他の曜日又は第 3 週になることもあり得ます。

4) 9 月と 10 月の例会は、次の日程です（部屋確保済み）。

① **9 月 1 日（火）19：00～21：00** 集会室

② **10 月 6 日（火）19：00～21：00** 集会室

<注>会報『やまびこ』8 月号の予定表には、9 月 15 日（火）も例会を開催することになっていますが、キャンセルしました。

★会報『やまびこ』9月号の発行

- 1) 11月の会山行案内が掲載されます（バス利用2件、電車利用1件）。
- 2) 例会が1日（火）に開催されますので、ホームページへの掲載は遅くとも前日（8/31）には行う予定です。会報部の関係者の皆さん、宜しくお願いします。

★コロナ禍終息後の例会（部屋利用規制解除後）現在部屋定員の半数以下規制あり

従来使用していました『学習室3（定員30人）』では、狭すぎます。そこで、『学習室1（定員72人）』の利用を考えています。

鎌ヶ谷市中央公民館に『学習室1』の夜間の空き状況（8月17日時点）を確認したところ、次のような回答がありました。（回答者：井熊房江副館長）

- ①月曜日：全週空きあり
- ②火曜日：第5週の空きあり
- ③水曜日：全週空きなし
- ④木曜日：第1、3週空きなし、第2、4、5週空きあり
- ⑤金曜日：全週空きあり

いつからの実施になるかは全く分かりませんが、多くの会員からの『月初め開催』の希望を考慮するとともに、『学習室1』の空き状況から、今後の例会開催は、『第1月曜日』か『第1金曜日』の夜間に変更する方向で調査を進めていきます。仮に、調査を進める中で、他の団体の動きもあり、希望通りになるかどうかは現時点では全く予想できません。ご承知願います。

また、中央公民館に次のような問い合わせをしていました。

『第1月曜日（例会）が、第2水曜日（山行部会）と同じ週になった場合、部屋の利用はできるか？』（原則、同一週に2つの部屋を確保できないため）
→ 8月20日（木）に、『可能です！』という回答がありました。

※メール配信に対しての返信では、『第1月曜日』を希望する人が多かったので、『第1月曜日に例会開催（1回）』を前提に、今後は調査を進めます。

★会山行を10月まで中止とした背景

事前に運営委員会のメンバーに『9月以降の会山行実施等に対する意見』を、私の『会山行年内中止』の考えを添えてメールでもって意見を募りました。

また、会員にも同様に意見を募りました。

それに対して、12名から貴重なご意見が寄せられ、『12月まで中止』と『10月まで中止』という意見がありました。

2月末より会山行を全て中止にしており、『出来る限り早い時点での会山行実施』の要望があることや、コロナ禍の先が見通せないこともあり、あまり先までの中止を打ち出さず、その時の状況を見ながらこまめに方針を出していく方がベターと考え、今回は『10月まで』としました。ご理解ください。（2020/8/21/Fri.）

山 行 案 内

新型コロナウイルス感染防止により、9月・10月の山行は中止です。

9/5 入笠山

9/19 神武寺～鷹取山 ウォーキング

9/26 岩船山・清水寺

10/4 宝篋山 ウォーキング

10/18 大坊山・大小山

10/24 雨引山

11月の山行予定

***尾白川溪谷（おじらがわけいこく） （ややきつい ☆★）**

紅葉の溪谷を楽しむ

日 時 : 11月1日（日） 雨天中止

交 通 : バス利用

集 合 : 鎌ヶ谷市役所

往 路 : 鎌ヶ谷市役所 5:30～尾白川溪谷駐車場 9:00 予定

復 路 : 尾白川溪谷駐車場 15:00～鎌ヶ谷市役所 19:00 予定

コース : 尾白川溪谷駐車場…竹宇駒ヶ岳神社…千ヶ淵…旭滝…百合ヶ淵…神蛇滝…不動滝…龍神平「尾根道」…竹宇駒ヶ岳神社…尾白川溪谷駐車場

歩 程 : 登り 2 時間 30 分 (360m)、下り 1 時間 35 分 (344m)

アップダウン、鎖場あり

交通費概算 : 約 1 万円 (GO TO キャンペーン利用可の場合変更あり)

担 当 : (CL) 小林正、(SL) 山脇・井上勝

***赤城山（黒檜山 1827m・駒ヶ岳 1686m コース）体☆☆ 危技★**

日本 100 名山

赤城山の最高峰が黒檜山で、登山道は整備されています。高度を上げるにつれて、大沼の眺望が広がり、頂上からは日光連山・谷川岳等の展望が楽しめます。運が良ければ紅葉に染まれそうです。

日 時 : 11月7日（土）小雨決行（観光コースに変更も有）

交 通 : 鎌ヶ谷観光バス 鎌ヶ谷市役所 5:30 集合 帰着 18:30

(往 路)：市役所 5:30 発ー佐野 SAー波志江 PA・ICー赤城神社 9:30

(復 路)：赤城公園ビジターセンター14:20 発ー波志江 PA・ICー羽生 PAー鎌ヶ谷市役所 18:30 着

コース：赤城神社 (0:10) …黒檜山登山口 (1:15) …黒檜山 (0:10) …展望台 (1:00) …駒ヶ岳 (0:15) …駒ヶ岳登山口分岐 (0:30) …駒ヶ岳登山口 (0:10) …赤城公園ビジターセンター

エスケープルート：黒檜山ピストン

歩行時間：3 時間 30 分 (休憩含まず) 標高差 上り 498m 下り 484m

交通費：小型バス 114,000 円 13 名参加で 8,800 円 (参加人数により変更)

大型バス 172,000 円 21 名参加で 8,200 円 (参加人数により変更)

※各々ソーシャルディスタンス設定での上限定員です。

(GO TO トラベルキャンペーン事業対象になると割引がありますが、まだ不確定ですので、解り次第お知らせします)

入浴なし、熊避けグッズ持参 (ツキノワグマ常駐?密)

※参加申し込みは 9 月第一例会 1 日 (水) でとります。

参加者は申し込み順で、定員になり次第締め切りとします。

担当：(CL) 加藤、(SL) 手塚、逢地、高木

＊大房岬 (だいぶさみさき) ウォーキング ☆

雄大な海景を楽しむ。戦時中の要塞跡も残っている。晴れていれば海の向こうに富士山、天城山、三浦半島が見える。

日 時：11 月 21 日 (土) 予備日 22 日 (日)

※年間計画は奈良の柳生街道でした

交 通

(往 路)：新鎌ヶ谷 6:15ー6:27 船橋 6:37_6:51 千葉 6:58 (館山行き) 8:38 富浦

※集合 ちば駅 4 番ホーム 館山行き ※解散 富浦駅

復 路：14:51 15:12 (特急さざなみ) 16:24 16:43 (特急) 17:25

コース：富浦駅…30 法華崎…20 原岡海岸…40 レストハウス…60 レストハウス…50 道の駅…20 富浦駅

歩 程：コースタイム 3:40 所要時間 5 時間

交通費概算：4000 円弱

交通費詳細：ジバング割引の場合は、行先を館山往復 復路に特急利用可
船橋→富浦はジバング不可

担 当：(CL) 桐生、(SL) 五十嵐幸・五十嵐朝

県連関係予定行事

2020 年度 第 1 回ハイキング委員会報告

1) 第 36 回 房総ロングハイキング

2021 年 1 月 30 日 (土) 31 日 (日) 開催予定

問題点 1) コロナウイルスの状態で宿泊の問題。 桑原が確かめる。

2) 東葛地区のバスの問題、大型で 20～25 名 定員 羽鳥が確かめる。

※ 結果 募集はするが、11 月末で催行の有無を決定する。

2) ウィークデー山行 玉原 (たんばら) 高原 湿原散策～尼ヶ禿山 催行予定

日 時: 2021 年 6 月 10 日 (木) バス利用 2 台 千葉発・東葛発

コース: センターハウス駐車場 10:40 出発—玉原湿原—朝日の森ロッジ登山口—
鉄塔—尼ヶ禿 山山頂—鉄塔—トンネル手前登山口—ブナ平—駐車場 15:00 着予定

乗車=「望郷の湯」16:20/17:20=各地

※ 結果 募集はするが、4 月末に催行の有無を決定する。

3) 次期役員の選出

委員長・田中康男、 副委員長 (補佐)・羽鳥健一郎、 会計・桑原取敢えず

4) ふれあいハイキング…本年度は中止

2021・5 月に予定 行先は未定



ナタマメ…昨年、房総の村ウォーキングで頂いたのを育てました。

さやの長さは、25 cm 以上あります。

山行報告

茨城県岩間 難台山 (553m)

井上順之

令和2年7月13日(月)

清水(車)、井上順

愛宕神社Pから難台山往復

約5時間

曇り、湿度大だが涼しかった

梅雨時山行のタイミングの一つに前線の南下がある。7月2日の高水三山もそうだったが、明日13日も似たような気圧配置。チャンスとばかり場所も決めずに清水さんに電話。場所は後から考えるからと了解をもらった。展望は望めなくても雨が降らずに涼しければと、6月山行報告で見た「難台山」の記事を思い出し、担当者から電話で助言を頂きそこに決めた。

鎌ヶ谷を7:30にスタート。丁度通勤ラッシュの時間帯。16号線も渋滞。柏から岩間まで高速利用。途中SAで朝食を取りながら10時愛宕神社駐車場着。車から降りたら肌寒い。こりゃーいいぞー・・・



前日まで降っていた雨のせいで、登山道は濡れていた。南山展望台を過ぎると結構急な登り下りが続く。そしてよく滑る。登りは良いが下りを案じた。

途中、女性グループ一行から「・・・の花」(写真)が咲いていますと言われ、その場所に案内してくれた。その場で覚えたつもりだったが、直ぐに忘れていた。

12時半、難台山山頂着。これと言って目ぼしい特徴は無い。地面は濡れているので座れそうな石を見つけて昼食。

13時スタート。案の定、急な下りはツルツル。幸いロープが張って有り、丁寧に地面に丸杭が打ちこんである。その杭頭を踏みながら下山出来たのは有りがたかった。15時、駐車場着。お決まりの「筑波ウェルネスパーク」でゆっくりと汗を流し岐路についた。巣ごもりの毎日には、豊富な緑とひんやりとした山路、適度な疲れは最高の気分転換になった。このコース、「夏場でも周辺の山に比べて涼しいですよ」と地元の登山者が教えてくれた。

初 登 山

柳 嗣穂

この7月に東葛山の会に入会しました柳 嗣穂と申します。
コロナで世の中大変な中、先日私の歓迎登山を行っていただきましたので、
そのお礼と初登山のレポートをいたします。歓迎登山をしていただいた逢地さん、
四元さん、井上順さん、清水さん、羽鳥さん、ありがとうございました。

7月31日(土)5:30 同じ馬橋に住む清水さんと合流し清水さんの車で向かう。
初登山は那須岳に行く予定。今日の天気は何とか持つ予定であったが、空を見上げると
好天は望めない。他のメンバーとは蓮田SAで落ち合う予定だったが、蓮田SAに入らず
間違えて高速を降りてしまったとのこと。その後、羽生SAあたりでようやく落ち合う。
しかしながら、天気予報が完全に外れ、山に近づくにつれ次第に雨足が強くなってきた。
当初の予定は今日那須岳を登り、下山後、那須に泊まり帰る予定だったが急遽明日登ることにした。
1泊の予定でよかった。那須に着いたが宿のチェックインが14:30であり時間があまったため、
明日乗るロープウェイの場所と時間を下見した。その後、雨の中ではあったが自然研究路を
1時間ほど歩いた。雨のため木道が滑りやすく歩くのに難儀した。ようやくチェックインの
時間になり今日の宿である那須サンバレーに着いた。

普段は山小屋に泊まるのでこんな綺麗なホテルに泊まることはまずないとのこと。
井上さんから聞いた話では、日本の山小屋と海外（確かニュージーランド？）の山小屋では
環境、綺麗さがまったく違うとのことだ。日本の山小屋は初めてだとその「綺麗さ」にカルチャー
ショックを受けるらしい。覚悟しておこう。やっと宿に入ることができ温泉につかり、一部屋に
集まり一杯始まった。四元さん、清水さんと会うのは3回目だが、他の皆さんとはほぼ初めて
なのでそれぞれの人となり聞いた。年齢的には皆さんは大先輩であるが、山に登りたいという
共通した目的で集まっており、皆さんの話を聞いているとそれぞれ本当に味がある。ほろ酔いで
疲れていたのか明日のために夜は8:00には寝てしまった。

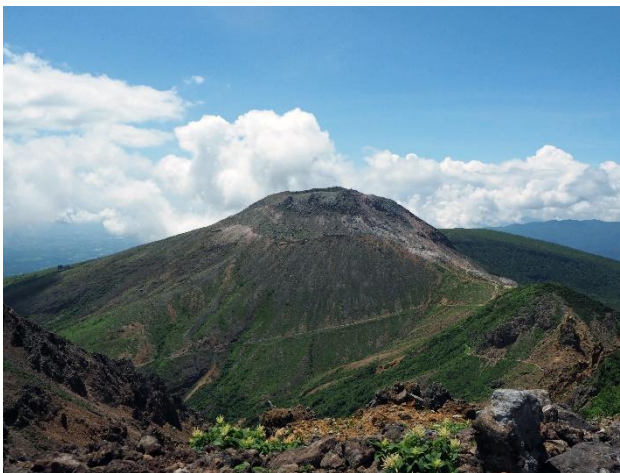
翌8月1日、天気は一転、好天であった。登山を今日にずらして大正解。
昨日調べたロープウェイの発車時間は9:00。那須ロープウェイ山頂駅から乗ってももの5分
で着いた。ここから登山が始まった。私の登山歴といえど20年ほど前に富士山に職場の仲間と
登頂したことがあるくらいでほとんど皆無。本当に大丈夫なのかと結構心配ではあった。
知識もなく装備についてはまったく持っていなかったので、一から買い揃えなければいけない。
購入の際、清水さんに付き合ってください装備品は揃えたばかりのすべて新品。

歩き始めてすぐ那須岳は岩山であることがわかりこれが結構歩きにくい。



先頭の清水さんに遅れまいと必死に登る。ぐらつく石があるため清水さんの足跡と同じところに足を置いて歩いた。少しでも歩きやすいように工夫する。歩いている中、ポールの使い方、他の登山者とする違う際の注意など皆さんから色々教えてもらった。自分も歳のせいか（なんて言うとは皆様からお叱りを受けてしまうが）登っている

ると正直結構きついと覚えることもあった。多分今までこれといった運動をしてこなかったツケがまわってきたのだろう。ただ、天気には本当に恵まれたので、きつい登りの最中たまに立ち止まって振り返るとそこに絶景！！きつい登りもこれですべて帳消しになる。今は映像で綺麗な風景はいくらでも見ることはできるが、実際に登るきつい体験をしてかいた汗、風、小鳥のさえずり、青空のすべてが来てよかったと覚える。登山はまず、茶臼岳に登りそこから朝日岳に向かった。朝日岳でお昼にして、羽鳥さんからいただいた家庭菜園のきゅうりやトマトが更においしく覚える。朝日岳から三本槍らしき峰が見えたが今回はここから下山。来た道を帰って、また茶臼岳に登っていたとしたら結構死んでいただろう。4時間くらいの登山であったが初めての登山には丁度よかった。清水さん曰く、「今日は普段の半分くらいかな。」・・・らしい。覚悟しておこう。



今回は天気に恵まれ初登山としては最高であった。（晴れ男は誰だった？）初登山が雨に打たれながらの苦行体験であったら嫌になって、少なからずその後に影響があっただろう。自分が登山を始めたいと思った訳は、自然に触れあいたい事と何かに挑戦したいと思ったからだ。今のところ身体が許す限り山登りをしていき、あえて大口を

たたくなれば将来は海外の名だたる山にも挑戦したい！とそんなことを思っている。最後に今回歓迎登山を計画していただいた皆様には本当に感謝申しあげます。これから足手まといにならぬよう少しは役立つようにしますので、よろしく願いいたします。

雪入山の百体磨崖仏

日 程：8月2日(日)晴

参加者：岡部、前田延、鈴木か(記)

雪入山に「百体磨崖仏」を見に行きました。雪入山には何度も行っていますが、まだ見たことがないのです。

上佐谷バス停から1時間歩いてふれあいの里公園に着きました。いやしの里登山口からパラボラ山への登りは両側がアオキのジャングルの急登。登りきるとパープルラインに突き当たり、剣ヶ峰広場までは平坦な道です。

剣ヶ峰広場は天然のクーラーが心地よく、生き返りました。展望を楽しみながらランチタイム。

浅間山への登りも急登、紙垂(しで)が新しく赤飯とお神酒が供えてありました。浅間山を下り、「百体磨崖仏」への標識に従って薄暗い樹林帯を下って行くと、「百体磨崖仏」に着きました。



百体磨崖仏
どこにある
の？

見つけた！
＼(^o^)／



僧乗海が手彫り(線刻薄肉彫)した鎌倉時代の作といわれ、地元の小学校の教科書にも載っていて、子供たちも訪れるそうです。



近くに「助六地蔵」があります。見上げる程大きなお地蔵さんです。

安永7年(1778)12月、名主の福田与惣衛門(助六)は、助郷の重荷に反対する百姓一揆の代表となり、禁制を犯して江戸屋敷に強訴に及んだため打首獄門となった。助六の霊を弔い、その遺徳を後世に残すため農民たちは「助六地蔵」を建立した。

(説明文より抜粋)

※助郷(すけごう)とは江戸時代に徳川幕府が諸街道の宿場の保護、及び人足や馬の補充を目的として、宿場周辺の村落に課した夫役のことです。

杉沢の滝を經由して上志筑北バス停まで歩きました。下山してからバス停までの道は分かりづらかった。

電車もバスもガラガラで3密の心配はありませんでした。

新鎌ヶ谷⇄柏間、往復とも急行に乗れました。

お得切符情報

関鉄グリーンバス、土日祝日は全路線乗り放題で710円。500円位安かった。



ふれあいの里公園に咲いていた
タイワンコマツナギ

・・・レッツ “GOTO トラベル” で尾瀬・奥日光・・・

猪狩晃一

ストレス満杯、小金がたまった（山なし、飲み会なし、濃厚接触なし、故に金の使い道なし）、ましてや今回は 10 万円の給付金と GOTO トラベル、行かない手はない。また一方高齢者の長距離運転、もしやの感染、年金暮らしの身で危険な場所へとの世間の批判、それはそれとして給付金でホストクラブやキャバクラへ行くよりはまし、何はともあれ **GOTO トラベル**は国策であり、国民としての**義務**として珍騒動の上決行することになった。さて何処へ行くか、どこに泊まるか。連日の 35 度越えから涼しい所、ホテル代 35%引き、めったに行けない高級ホテルと言う事で連れの意向も組んで尾瀬ヶ原と奥日光に決めた。

8/2（火）8 時出発 外環～関越自動車道路～11：00 伊香保温泉観光

温泉街は石段の中央道路を挟んで参道のように左右に商店が建ち並んでいる。温泉の香りが醸し出され、観光客も少なかったがそれなりに見ごたえはあった。ご多分に漏れずこの地も観光客の減少、軒並みの虫食い状態が気になった。

吹割の滝（沼田市）見学

片品溪谷沿いに遊歩道があり、駐車場から山の中腹まで、樹林の中急登が続き、心地よい風と日陰の中 1 時間半歩き、下った所が終点の吹き割の滝である。水しぶきが吹き上がるように舞い、川底が割れた形状で滝になっている。高さ 7m、幅 30m、『東洋のナイアガラの滝』呼ばれているようだ。



今日の宿は片品村尾瀬高原ホテル、尾瀬に一番近い宿泊施設であり、鳩待峠行のバス停である事で選んだ。ここはスキー場内のホテルで、この季節は学校の合宿、尾瀬ヶ原等の前泊の山小屋として利用されているようであるが、コロナで客が激減、夕食は食堂で三密とは無縁、客は 10 人ちょっと、料金 10,000 円（割引で 6,500）値段相応の宿であったが。

8/3（水）尾瀬ヶ原散策

ホテルに車を置いて 6:30 発のバスで 30 分位乗って鳩待峠に着いた。車の乗り入れ禁止ではないが、やはり駐車場（40 台ぐらい収容との事）はほぼ満杯のようだ。ここは他に停める場所がないことから村に戻ることにするとの事。そこから山ノ鼻ビジターセンターまで歩いて 50 分、ビジターセンターで情報収集、1 日の計画を練った。帰りのバスの時間、奥日光への道のりを考えると一番オーソドックスな見晴十字路から東電小屋経由でビジターセンター迄 4 時間半の行程となった。この時期見ごたえのある花は期待できないようで、『池塘浮葉植物のヒツジ草』（オゼコウホネも生息しているが違いが分かりにくい）だけが頼りである。ヒツジ草（ひつじの刻＝午後 2 時に花を咲かせる）は、午前中は小さなつぼみで葉だけが目立つ程度で、花の楽園尾瀬ヶ原もちょっと殺風景な風景である。午後になってやっとヒツジ草が花開き池塘を彩った。カンカン照りでなく、気温も 25℃、時としてそよ風も吹き、人はまばらで、快適な尾瀬の旅であった。

尾瀬ヶ原の池塘の映り絵 （フォト俳句）



上記フォト俳句の解説 （TV 番組プレバトファンとして 1 句）

『むつつりは寡黙』と訳し『自粛で疲れた微妙な夫婦感情・旅行への後ろめたさ』の意味、季語は尾瀬（夏山）、くれぐれも『むつつり助平』はご勘弁を。

ついでに『やまびこ先月号の雷鳥と富士』の写真からフォト俳句を1句

【雷鳥と富士を崇める時を超えて】 (北岳にて)

(苦闘の山登りの世界を超えて雷鳥と富士のある異次元の世界へ)

“山行部の両先生”これ俳句になっていますかね！よろしかったら添削を。

今日の泊りは念願の『金谷ホテル中禅寺湖』、名門ホテルとして名高い。本家は日光市街地であるが、宿泊費 27,000 (割引で 17,550) が同額であることから、次の日の湖畔巡りの予定を考慮し中禅寺湖を選んだ。私にとって現役以来の贅沢である。考えることは皆同じ、割引が大きい宿と言う事でこちらは満室との事、ただ夕食のレストランは人数制限をしたのか3密を避けたレイアウトであった。それとなんと言っても食事がうまい。

作法に従った洋食も久しぶり” さすが一流 “ですね。

明治の洋館風の外観の金谷ホテル中禅寺湖



8/4 (木)

安全運転のため明るいうちの帰宅と、中禅寺湖の遊歩道散策に決め、樹林の日陰の中、暑さもなく湖の景観を楽しみながらの散策、華厳滝まで約1時間余り、遊歩道や店並みは観光客も少なかったが、さすが滝付近は若干の人混みで、滝は水量も多く水しぶきに濡れて心地よかった。バス利用で竜頭の滝も見学。

* 新会員さんへ

『尾瀬の四季』がホームページ東葛 Gallery の **3** ページ目に 5 月 (雪山)・6 月 (水芭蕉)・8 月と 3 部作で各 10 枚ぐらいずつ記載されています。

日光白根山

M:五十嵐幸、五十嵐朝、伏見、菊池、桐生、岡部（記）

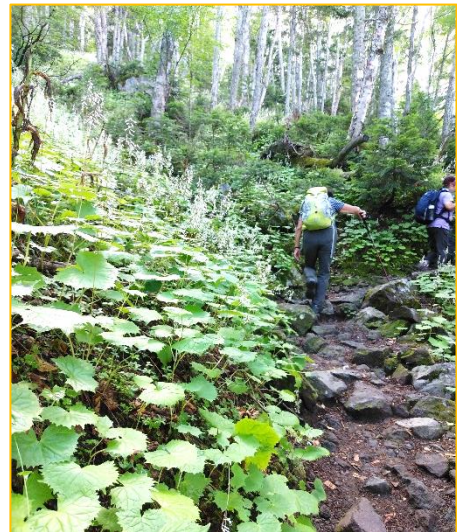
8月18日（火）

鎌ヶ谷 5:00 出発＝日光白根山ロープウェイ駅着 8:30

丸沼高原スキー場からロープウェイで一気に標高 2000m 迄運んでくれ、短時間で日光白根山の頂上に立てるこのコースは、久しぶりの山登りにはとてもうれしいコースです。

ロープウェイ山頂駅へ降り立つと、そこには涼しい風、美味しい空気、上州の山々、そして日光白根山が堂々と立っていました。きれいに整備された遊歩道から大日如来で登山の無事をお願いし、登山道へと進む。柔らかい土の道、石ころ、落ち葉、泥濘(ぬかるみ)、この足裏の感触。目に飛び込んで来る木々の緑と葉っぱの匂い。この感触が懐かしい。この風が好き。やっぱり山が好き。

整備されたトラバースの深い樹林帯の中を進んでいくと見渡す限りのカニコウモリの花々、凄い。トラバースが終わり直登に入ると展望が開けお花畑も出てきた。ハクサンフウロ、トウヤクリンドウ、アキノキリンソウ、高山植物の花々にも会えた。ザレ場から最後の岩場を登るとそこは 360 度見渡せる頂上が待っていた。コバルトブルーの空が綺麗。バンザイ。



もと来た道を戻り山頂駅へ。展望台の足湯に浸かり、下界の暑さを忘れ、爽やかな風に吹かれながら日光白根山をボーッと眺めていた。

幸せな時をありがとう。

ちゅうす
茶臼岳～朝日岳を振り返り

羽鳥健一郎

新しき仲間を迎え那須の山天気予報の回復信じて
山麓の雨に濡れたる木道や八幡の吊り橋一巡りす
高原の初めて泊まるホテル着きマスク姿で指の消毒す
小分けした料理の皿をプレートに何度もお替りシニアら元気
梅雨明けて登山日^{びより}和の朝迎え^{はや}逸る気持ちや足取り軽ろし
久々の夏の岩山登り行きあっという間に茶臼岳に立つ



夏空に映える岩山仰ぎ見て茶臼岳から朝日岳へと
十二月リュックごと浮く風吹きし峰の茶屋跡夏の顔見せ
「三斗小屋やってますよ」とすれ違う若き^{ぽっか}歩荷は重き荷背^も負う
朝日岳無事に下山し大丸の硫黄の湯にて足揉み解す
温泉もソフトクリーム土産まで「おまけしたよ」と気遣いの店

思い出の山

同窓会と「九州 5 峰巡り」

四元一成

2014 年の「高校の同窓会」開催の通知のはがきが届いたのは、確か 1 月だったと記憶しています。開催日：5 月 18 日、場所：鹿児島市のホテルを確認して、今年も出席を諦めていました。

3 月頃、「九州 5 峰巡り」の山行計画が始まりました。

計画が確定したのは、4 月の末で「九州 5 峰巡り」5 月 12 日～19 日でした。日程の詳細を確認すると、5 月 18 日指宿泊です！ 若しかすると、同窓会に出席できるかもしれない。希望が出できました。

そこで、時刻表を調べると指宿駅―鹿児島中央駅 1 時間で、出席出来る可能性が大きくなりました。同窓会は 18 時開始です。指宿駅を 16 時の 電車に乗れば間に合います。色々悩みましたが、出席を決意しました。

同行の皆さんに迷惑を懸けない事を前提に決め（登山の期間に同窓会に出席の不安を抱えながら）5 月初めに、同窓会の幹事に出席を連絡しました。

5 月 18 日当日は、知覧武家屋敷庭園・知覧特攻平和会館・枕崎漁港・池田湖・長崎鼻等の観光が終了して、同行者の了解を得て、レンタカーを指宿・枕崎線の喜入駅に着け、16 時の電車に乗りました。約 1 時間の錦江湾と桜島を眺める電車旅でした。鹿児島中央駅で、ホテル行のバスに乗車し、無事にホテルに着きました。同窓会の開始の 18 時に間に合いほっとしました。

山好きの友人が 2 名いて、山の話に花が咲きました。電車の時間を気にしながら、カラオケ・高校生活等の話を満喫しました。あっという間の 2 時間の楽しい同窓会が過ぎていきました。21 時の鹿児島中央駅の電車に乗り、指宿駅まで約 1 時間、乗り越さないように、緊張（酒酔いの為）して乗りました。ホテルには 22 時 30 分頃に着きました。

こうして、私の念願の「高校の同窓会」は無事終わりました。19 日の開聞岳の山行は天気にも恵まれ、東シナ海の眺めは、最高でした。また、開聞岳と東シナ海は絵になる光景でした。

開聞岳



母親と男子中学生の登山の親子に会いました。(偶然にも、鎌ヶ谷在住でした)
砂風呂で1時間、湯ったりでなく、砂たりに汗を流し、鹿児島空港を後にしました。
変化に富んだ、山行・観光・そして、同窓会！同行者の皆さん有難うございました。

【参考】

「九州5峰巡り」参加名：猪狩・木村・逢地・四元4名

5月12日 羽田空港→熊本空港 雨 観光 水前寺公園・熊本城 高千穂町泊

5月13日 登山 祖母山 高千穂町泊

5月14日 登山 阿蘇山 登山後 雨 阿蘇山地獄温泉泊

5月15日 観光 高千穂峡 九重夢大吊橋 大分県 九重町泊

5月16日 登山 九重山 えびの高原泊

5月17日 登山 韓国岳・高千穂の峰 指宿泊

5月18日 観光 知覧武家屋敷・特攻平和会館・枕崎港・長崎鼻 同窓会 指宿泊

5月19日 登山 開聞岳 指宿砂風呂 鹿児島空港→羽田空港

たかちほのみね
高千穂峰



あま さかほこ
頂上には天の逆鉾がある

※10月号は江崎さん、11月号は三橋さん、9月20日を目安に加藤まで。

ちょっと一言

(菅谷真一)

梅雨の中、牛久沼あたりを散歩していると、小川芋銭記念館「雲魚亭」というのに行きあった。芋銭は河童の絵で知られる日本画家らしい。日常使用した硯や着物などの展示のなかに「万治峠」で休憩する芋銭一行の写真を見つけ、以前「万治峠」に行ったときのこと、峠に句碑があったことを思い出した。家に帰って調べてみると、それは芋銭の句であった。大正4年に、峠の下にある、現在は重要文化財になっている五十嵐家を訪れて数日間逗留したらしい。

わするなよ万治峠のほととぎす 芋銭

「万治峠」は古くから新潟県の阿賀町実川と西会津をつないでいた峠である。私が登った時のことや句碑が建てられた経緯などを考えていると、どういうところの働きか、訪れる人もいない深い谿の向こうに残雪の飯豊連峰が輝き、どこかからホトトギスの鳴き声が湧き上がる峠に立っているように感じられた。私も聞いたホトトギスの声から、芋銭の訪れたのも同じ若葉の季節だと思われる。

雪嶺へ^{こだま} 銚いのぼるほととぎす

飯豊連峰残雪展げ翔たんとす



たまたま立ち寄った記念館の写真によって、梅雨の夜に、遠く離れた会越国境の深いブナ林の空気が自分を取り囲んでいる気配が引き起こされたことは、不思議な気分がするとともに、峠にはずっと変わらない時間が過ぎていることを感じさせるものだった。

(赤塚義政)

3月に新型コロナ、緊急事態宣言、新型コロナ世界中に蔓延、お祭りスポーツあらゆるイベントの中止、東京オリンピックの延期、梅雨入り各地で豪雨災害、8月に入ってやっと梅雨明け、今度は猛暑、名古屋、岐阜などは38度～39度、静岡で40度の災害級の危険な暑さ。

コロナ禍今年のお盆はどうされましたか、私の実家は尾張一ノ宮で母親は97歳、お盆と正月には毎年欠かさず行っていました、実家から今年のお盆は中止の電話があり、今年はじめて行きませんでした。子供達にも「お盆は来なくていいよ。墓参りは私が行き掃除してお参りしてくるから」と伝え、私一人汗だくで掃除してお墓参りして来ました。ほとんどの人が自宅で過ごされた事でしょう。

円座して同じ釜の飯を食べ鍋をつつつき同じテントでゴロ寝して過ごした頃が懐かしい。まだまだ続くコロナとの戦い、マスクに手洗い、ソーシャルディスタンス、コロナウイルスと共存共栄する社会になるのか？ロボットが受付したり案内したり、スマートフォンでエアコン ON/OFF その他家電の操作ができる事が私にはその理屈がわかりません。人類はどこへ向かうのか？あっちいし、コロナにも参っちゃうし、でも気持ち切り替え明るく元気に華やかにガンガン頑張って行きましょう。



10月号の担当は、山口洋子さんと蓮見久美子さんです。

(9月20日頃をメドに、原稿を高山宛てメールにて送付お願いします。)

編集後記

最近仕事をすべてリタイヤし毎日自宅で過ごす日が増えましたが、コロナ騒動の最中、外出も極力控えているので暇を持て余す毎日を紛らわすため古いPCを修理して使えるようにしようと思い挑戦しました。動かない原因が様々で修理というより原因調査のための調べが主となり、インターネットにかぶりつき、目が疲れるのも忘れてのめりこみました。おかげで3台のPCが復活しました。

諦めずに試行錯誤で弄り回したのですが、何とかなるものだと改めて感じました。最近は何でも壊れたから買い換えようすることが多くなりましたが、年金生活にもなった事だし修理して使う事も見直す必要があるのかなと思いました。

(清水)

少し前から「〇〇の者ですが草取りやらせてもらっていますが、如何ですか？」と『ピンポン』鳴らしてくる。それも、1度や2度ではなく何回も。確かに、家の前は草花に混じって草が生えている。これはいけないと思って、草取りをした。そして又『ピンポン』！同じ事を言うてくるので「これ、草花なんですけど・・・」って言い返した。「これは、そうだけど・・・」って。

インターホーン押したあと、何か手帳に書き入れている。我が家だけではなく、近所にもピンポンしている。同じ人なので認知症かな？とも思ってしまうが、見た目は全然普通の人でした。

(山脇)



原稿作成要領

用紙設定 A4

余 白 上下左右 30mm

フォントサイズ MS明朝 12P

※原稿締め切り、毎月20日までをお願いします。

<担当>鈴木か、前田せ、山岡

手書きも大歓迎です。会報部員に渡して下さい。

発行日 令和2年9月1日

発行者 東葛山の会

会 長 安彦 秀夫

編集者 梅田 尚志

東葛山の会 ホームページ <https://www.tokatsu.club>